

平成30年度 第6回 海老名市社会教育委員会会議内容

日時：平成31年3月28日（木）

10:00～12:00

場所：えびなこどもセンター201会議室

【出席者】

| | |
|-----|---|
| 委員 | 植松慶子、志村政憲、栗山明郎、米山稔、塩地ひとみ、 郡山強、前野佳三、山田信江 |
| 事務局 | 伊藤教育長、岡田部長、金指次長、伊藤次長、小宮次長、 小林課長、西海課長補佐、押方係長、小菌副主幹、橋本主任主事 |

【議事】

- (1) 教育委員会の平成30年度事業の報告
事務局より説明

委員：あそびっ子クラブの開催時間であるが、11月～3月の16時までは短すぎないか。準備をする時間の方が長くかかっている現状である。

事務局：夜暗くなるのが早いため、配慮をしている。学校と調整して、安全に配慮して時間設定を行いたい。

- (2) 平成30年度社会教育団体への補助金について（教育委員会）
事務局より説明
→教育委員会の事業について承認された。

委員：青少年指導員連絡協議会の補助金の中に指導員への報酬は含まれるのか。

事務局：含まれていない。報酬に関しては別途予算がある。

事務局：PTAの子ども110番プレートはいつ頃新しくなる予定なのか。

委員：10月前には納品していただき、それから各学校の担当に配布になり、掲示となるため、来年度末にすべてのプレートが新しくなっている予定である。

- (3) 文化スポーツ課の平成30年度事業の報告
事務局より説明

委員：3年前の話にはなってしまうが、エビナプロムナードコンサートの倍率が非常に高かった。今も高いのであれば改善していただきたい。

委員：新入学児童運動能力測定は、実施結果と全国平均との比較があるとよい。
事務局：担当課に伝えます。

(4) 平成30年度社会教育団体への補助金について（文化スポーツ課）

事務局より説明

→文化スポーツ課の事業について承認された。

(5) 海老名市立図書館のアンケート結果について

事務局より報告

質疑なし

(6) 社会教育計画の見直しについて

事務局より説明

委員：「友だちや大人にかかわることができる子」は「友だちや大人に豊かにかかわることができる子」、「海老名を好きになる子」は「海老名が大好きな子」、「好きなことを見つけることができる子」は「夢を持ちがんばる子」の方がよい。

事務局：例えば小学校の教員が良い教員で教員を目指す子や、テレビなどを見て野球選手やサッカー選手を目指す子がいる。そのように関わった大人たちが目指すべき姿になりえる。

委員：近くに夢のモデルがあればその姿に向かう。ただ、自分から関わらないとモデルとの関係性が持つことができない。

委員：自分で体験や見学することが夢につながる。

委員：世界の幸福度ランキングで日本は先進国にもかかわらず、低い状態である。自己評価が厳しく、自信が持てないのではないかと感じる。

委員：やはり自分で体験することが自信につながる。失敗してもよい。

委員：大人をどう巻き込むかも課題である。子どもは大人が関わっている方が楽しめる。

委員：「自分・友だち・大人と海老名を好きになれる子」の「大人」のメインは親と先生だと思う。PTAも親だけでなく、先生も含まれている。親ももちろんだけど、先生も積極的に関わっていただきたい。

委員：「生きる力」も大事だと思う。

委員：安心・安全というのものもあるが、環境整備が整っていないとも感じる。

事務局：頂いた意見を参考に次回までにまとめたい。